

日頃より私、渡辺ふじおの議会活動に、ご理解、ご支援を頂き心より感謝申し上げます。さて、国政が混迷し、震災復興が遅々として進まず、デフレ、円高など国内の景気回復の先行きも不透明です。杉並区政の一端を担う立場としては区民の皆様に安心して暮らして頂けるよう、様々な課題に全力で取り組んでまいりたいと思います。

念願の済美山運動場がオープン！

杉並区堀ノ内2丁目に、9月30日、念願の全天候型400mトラックと天然芝のサッカー場を備えた済美山運動場がオープンしました。

8年前、地元中学校陸上部のコーチを引き受けた時、区内に満足な競技場が無いことを知り、議会で総合運動場を提案しました。その後、まつば都議会議員の尽力によって、旧富士銀行グラウンド跡地の取得が進み、杉並区のバックアップのもと5年の歳月をかけて開園を実現することができました。



この運動場は、スポーツ施設というだけでなく、大規模災害時には広域避難場所としての役割が果たせるよう、災害時用井戸や災害時用トイレも備えています。

9月30日にはオープンイベントが開催され、多くの方が集まりました。

区内のスポーツ関係者や地域の方からの喜びの声を多く頂いています。

杉並区政施行80周年

本年度、杉並区は区政施行80周年を記念して様々なイベントや事業を行なっています。

昨年より企画委員として記念事業を提案させて頂き、杉並区の魅力を再認識する「中杉通りのパレード」、「宝探し」、「写真コンテスト」が採用され実施されることとなりました。

桃井原っぱで開催された80周年まつりでは、区が主催するイベントでは過去最高の10万人近い人出となり、多くのお楽しみに楽しんで頂きました。



第3回区議会定例会 決算特別委員会での質問要旨より

- ★ 行政の手助け無しでも生き抜ける地域づくり、まちづくりを進めていくべきと考えるが
- ★ 高齢者を含む災害時要援護者について、長期避難生活を想定したケア体制についても研究し、今後の計画に繋げるべき
- ★ ガソリンスタンドは経営が厳しく、災害等非常時用自家発電装置の設置費をねん出することができない状況にある。設置にあたって補助を検討すべき
- ★ 抜け道は、地域の防災上の安全確保の観点から、一定の条件を付け、避難通路として整備すべき
- ★ 高齢者等の買い物弱者（買い物難民）対策を庁内横断的に検討すべき
- ★ 高度な行政サービスを行なうためには、セキュリティなどの観点から区独自の情報インフラが必要となってくると思うがどうか
- ★ UR 荻窪団地跡地を活用した特養の整備計画について、北側の用地が公益施設用地として利用されると聞いているが、区は、どの程度の規模の特養整備を考えているのか
- ★ 高齢者等のアパート斡旋事業について、不慮の事故や介護の問題など貸し主側の不安解消のため、現在ある高齢者等入居支援事業等の制度を活用し見守りサービスを契約条件にしてはどうか
- ★ ICT を活用した学校教育について、推進事業指定校から「ICT の活用はこれまでの教師主体の授業から生徒が主体の授業へ変わって行く」「教育の大きな変革をもたらす」との声が上がっているが、教育委員会としてどのように進めていくのか



東京都石油商業組合杉並中野支部より「震災時の停電等における、給油所での燃料供給に支障をきたすことのないよう、区と杉並中野支部との「災害時における燃料等の優先供給等に関する協定」に基づき、杉並区内給油所における自家発電設備購入に対する助成をお願いしたい。」との相談を頂き、要望書を田中区長へ提出。

ナショナルトレーニングセンター視察

副会長を努める杉並区議会スポーツ振興議員連盟で、国内競技スポーツの聖地と言われる「AJINOMOTO ナショナルトレーニングセンター」を視察した。当日はJOCよりオリンピック招致に関する説明。そして、日本体育協会より「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明を受けた。その後、施設内を見学させて頂き、ロンドンオリンピックでの最多メダル数を獲得の原動力となった種目別の専門練習場を目の当たりにすることができた。区内スポーツ振興のため杉並区が、来年度に向け策定中の「スポーツ推進計画」へ議連からも提言をおこなっていきたいと考えます。

